



## 大阪国際空港 レンタカーステーション開設 及びカーシェアリングの規模拡大！

関西エアポート株式会社は、大阪国際空港（伊丹空港）を拠点としたレンタカーステーションの開設及びカーシェアリングの規模を拡大いたします。

7月8日（月）に開設するレンタカーステーションは、オリックスレンタカー・トヨタレンタカー・タイムズカーレンタル・日産レンタカー・ニッポンレンタカーの5社が出店し、ターミナルビル内の店舗から直接、出発・到着が可能となります。従来は空港から各営業所までお客様を送迎していましたが、レンタカーステーションの開設により利便性が飛躍的に向上します。**\*注1**

また、大阪国際空港駐車場中央エリア内のカーシェアリングを順次増車し、8月2日（金）を目途に現在の12台から国内主要空港では最大規模<sup>\*2</sup>となる41台まで拡大する予定です。24時間いつでもご利用いただけるカーシェアリングをさらに増強することによって、お客様の多様なニーズにお応えできるようになります。

関西エアポート株式会社は、引き続き、お客さまの利便性やサービス向上を目指し、快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

### ■ レンタカーステーション概要

#### 【開設場所】



#### 【入居店舗】

オリックスレンタカー、トヨタレンタカー、タイムズカーレンタル、日産レンタカー、ニッポンレンタカー

### ■ カーシェアリング概要

#### 【開設場所】

大阪国際空港駐車場中央エリア内



#### 【事業者】（8月2日時点）

タイムズカーシェア：33台、オリックスカーシェア：6台、Honda Every Go：2台

<sup>注1</sup> ターミナルビル改修工事の影響により、2019年9月末までオリックスレンタカー及びニッポンレンタカーは従来の店舗まで送迎車による対応となります。

<sup>\*2</sup> 2019年6月26日現在、当社調べ。

#### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ  
Tel：072-455-2201

25 80 13  
KIX ITAMI KOBE



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客者数は2億4,000万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構